

障害を持つ人たちの通所施設

社会福祉法人みな実福社会

はすの実作業所

「集団の中での豊かな発達、充実した生活をめざして」



橋本美穂

就労継続支援B型事業所
社会福祉法人 みな実福社会
 **はすの実作業所**

〒146-0082

東京都大田区池上5-28-1-108

電話/FAX 03-3752-2150

e-mail: hasunomi@nifty.com

施設長 岩塚 究

職業指導員 三橋 真琴

生活支援員 石部 史佳

調理員 渡辺 実紀



○はすの実作業所とは

心身に障害をもった人たちは、学校卒業後の一般就労が困難であり、福祉施設も不足しているため、在宅生活になりがちです。

はすの実作業所は、学校生活で獲得した「生きる力」を失うことのないよう、集団の中で労働・生活・学習・創作活動を通じて、より豊かな人格発達を目指し、社会の一員として成長をはかる通所施設です。

○これまでのあゆみ

1979年10月 「はすの実グループ」発足。障害児の学校卒業後の進路を考える会として、親と教師ですすめる。

作業として、大坊本行寺のお墓掃除を行う。(第3日曜日)

1980年8月 はすの実第1回夏休み作業始める。毎年夏休み作業に取り組む。

1981年5月 新聞広げ作業開始。
調理実習・レクリエーションなどを取り入れる。

1982年7月 城南地区障害者夏まつりで、バザー参加。以後毎年参加。

1986年6月 はすの実作業所を開設(池上5-18-1)。週2回の放課後作業訓練開始。

1987年4月 心身障害者通所訓練事業として補助金を受ける。
はすの実作業所は毎日通所。はすの実グループは週2回の放課後活動を行う。

1993年4月 作業所移転(池上5-28-1-108)。利用者13名 職員3名

1998年9月 第2作業所(とちの実作業所)開設。

2002年4月 はすの実作業所。通所訓練事業から通所授産事業へ変更。

2013年4月 はすの実作業所。大田区心身障害者通所授産事業から就労継続支援B型事業へ。

○わたしたちのめざすもの

1. 私たちは、障害をもつ人たち1人1人が主人公として精一杯働き、人間としてたくましく豊かな人生を築くことをめざし、実践をすすめます。
2. 私たちは、障害をもつ人たち1人1人が大切にされることをめざし、地域の共同の事業として民主的運営をすすめます。
3. わたしたちは、地域のすべての人々の理解と協力の下に、障害者の権利保障をめざし、作業所運動を進めます。



○年間行事

遠足・宿泊旅行・バザー

クリスマス会・健康診断

レクリエーション等



○活動内容

1. 作業活動－下請け作業・クッキー作り
公園清掃・手織り
2. 生活訓練－調理実習・宿泊訓練
3. 趣味活動－フラワーアレンジメント・絵画
音楽
4. 機能訓練－体操・発声訓練



○1日の流れ

9:00	9:30	12:00	13:00	15:40	16:00
朝礼 体操	作業	昼食 休憩	作業	掃除 終礼	

◎土・日・祝休 夏期・冬期休業



○規模

①利用定員 20名

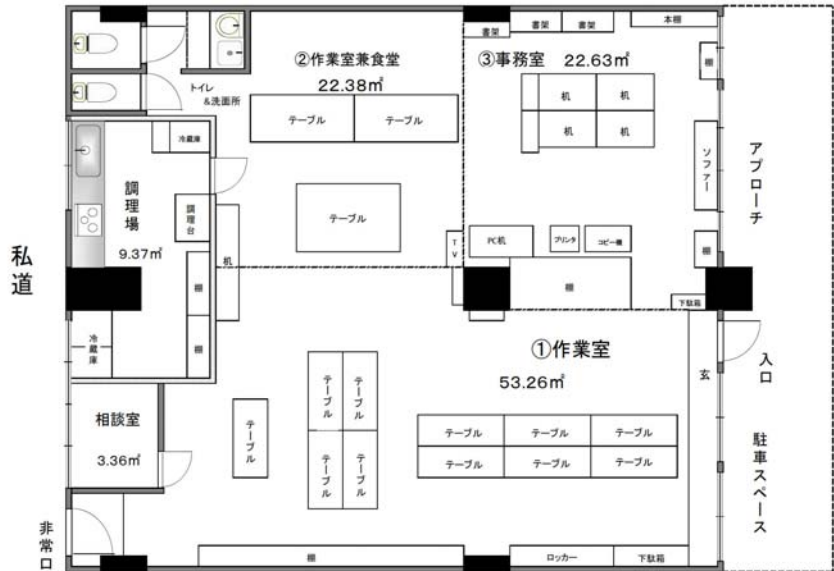
②職員

施設長 1名

指導員他 3名

講師 2名

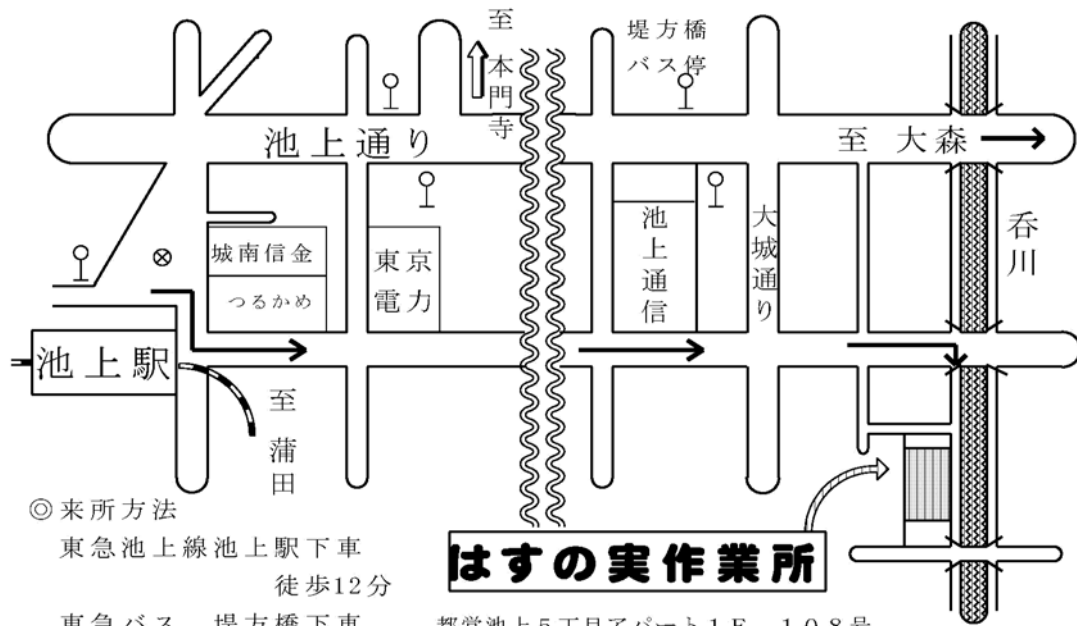
はすの実作業所 平面図



広さ 129.48㎡

社会福祉法人 みな実福社会

はすの実作業所 案内図



◎ 来所方法

東急池上線池上駅下車
徒歩12分

東急バス 堤方橋下車
徒歩5分

はすの実作業所

都営池上5丁目アパート1F 108号

